



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店 上場取引所 東
 コード番号 8244 URL http://www.d-kintetsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 秋田 拓士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 泉川 邦充 TEL 06-6655-7030
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	139,298	△0.2	2,147	△13.6	2,071	△6.0	1,622	△15.0
2019年2月期第2四半期	139,509	2.9	2,485	34.3	2,202	33.3	1,909	7.3

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 1,411百万円(△12.2%) 2019年2月期第2四半期 1,607百万円(△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	40.19	—
2019年2月期第2四半期	47.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	130,990	37,372	28.5
2019年2月期	129,256	36,769	28.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 37,372百万円 2019年2月期 36,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	284,200	0.5	5,300	△9.9	4,900	△10.6	3,900	△19.6	96.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	40,437,940株	2019年2月期	40,437,940株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	60,637株	2019年2月期	60,585株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	40,377,331株	2019年2月期2Q	40,377,532株

(参考)

2020年2月期の個別業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	259,900	△0.6	4,600	△10.3	4,000	△11.5	3,400	△20.7	84.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
決算補足資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年8月31日)のわが国経済は、貿易摩擦を巡る不確実性の高まりを受け、輸出や生産に力強さを欠きながらも、雇用、所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に緩やかな回復基調をたどりました。

百貨店業界におきましては、訪日外国人の買物需要による下支えに加え、引き続きラグジュアリーブランドや輸入時計など高額商品が好調を維持したものの、長梅雨による低温多雨及び台風、大雨等の自然災害の影響もあり売上高は低調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは「中期経営計画(2018年度～2020年度)」に基づき、「共創型マルチディベロッパーへの改革」を経営コンセプトとする諸施策を着実に実行し、各事業にわたり収益力の向上に懸命に努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、中期経営計画に掲げる「あべの・天王寺エリアの魅力最大化」に向け、あべのハルカス近鉄本店2階化粧品・婦人洋品のフロアをはじめとする大規模改装に着手するとともに、隣接するH o o p各階における改装を実施しました。また、a n dに新設した「成城石井」には、関西では初めてカフェ&パースペースを併設するなど上質なライフスタイルを提案する店舗へのリニューアルを進めました。

次に、「地域共創型百貨店」の確立に向け地域深耕の取組みを一層推し進め、奈良店では、地域産品を発掘・育成・発信する新コーナー「大和路 暮らしの間」を設置し、奈良の上質なくらしを提案する品揃えの強化に取り組むとともに、地域コミュニティづくりと子育てファミリー層の来店促進を目的に各種イベントを開催できる「ベビーガーデン」をオープンしました。橿原店では、「大和路ショップ」を新設するなど食料品売場を中心とする改装を実施するほか、東大阪店におきましても11年ぶりとなる改装を実施し、郊外店の構造改革にも引き続き注力いたしました。

さらに、百貨店事業以外での収益拡大を目指し、地域商社事業や越境E C事業におきましても販路の拡大に精力的に取り組まれました。

このほか、当社が持続的成長を続けるためには、環境・社会課題への積極的な取組みが不可欠であるとの認識の下、衣料品回収を全国的に展開する「BRINGプロジェクト」に参画するほか、あべのハルカス近鉄本店では、資源を再利用するだけでなく元の製品より価値の高いモノに再生する企画「UP!CYCLE WEEK」を初めて開催し、多くのお客様から賛同・協力をいただきました。

これらの諸施策を推進いたしました。各店舗において百貨店売場とテナント運営による専門店区画の融合を進めた影響により売上高は127,514百万円(前年同期比0.8%減)にとどまりました。営業利益につきましては、基幹システムの更新に伴う減価償却費の負担が増加したため、1,620百万円(同18.6%減)となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移した一方で、株式会社シュテルン近鉄が輸入自動車販売の競争激化を受け減収となったため、売上高は7,261百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は82百万円(同11.4%減)となりました。

③内装業

内装業におきましては、株式会社近創で大工工事受注があったことにより、売上高は2,756百万円(前年同期比52.5%増)、営業利益は349百万円(同6.4%増)となりました。

④その他事業

その他事業におきましては、売上高は1,766百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は225百万円(同72.2%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は139,298百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は2,147百万円(同13.6%減)、経常利益は2,071百万円(同6.0%減)となりました。これに固定資産除却損等270百万円、減損損失141百万円を特別損失に計上し、法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は1,622百万円(同15.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,733百万円増加し130,990百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,130百万円増加し93,617百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ603百万円増加し37,372百万円となりました。この結果、自己資本比率は28.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ755百万円増加し4,286百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費、仕入債務の増加などにより9,531百万円の収入（前年同期は7,483百万円の収入）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、改装に伴う有形固定資産の取得による支出などにより3,447百万円の支出（前年同期は3,409百万円の支出）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の返済などにより5,328百万円の支出（前年同期は4,491百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2019年3月1日～2020年2月29日）の連結及び個別の業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの実績並びに当社グループの売上予想等を踏まえ、以下のとおり変更いたしました。

2020年2月期の通期連結業績予想数値の修正（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	279,300	5,200	4,700	3,800	94.11
今回修正予想（B）	284,200	5,300	4,900	3,900	96.59
増減額（B－A）	4,900	100	200	100	
増減率（％）	1.8	1.9	4.3	2.6	
（ご参考） 前期実績（2019年2月期）	282,700	5,884	5,478	4,853	120.21

2020年2月期の通期個別業績予想数値の修正（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	256,500	4,500	3,900	3,300	81.73
今回修正予想（B）	259,900	4,600	4,000	3,400	84.21
増減額（B－A）	3,400	100	100	100	
増減率（％）	1.3	2.2	2.6	3.0	
（ご参考） 前期実績（2019年2月期）	261,536	5,127	4,520	4,290	106.25

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530	4,286
受取手形及び売掛金	11,240	12,348
商品及び製品	7,600	7,694
仕掛品	740	635
原材料及び貯蔵品	30	31
その他	4,373	5,345
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	27,490	30,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,038	45,420
土地	27,068	27,060
その他(純額)	3,173	3,591
有形固定資産合計	76,280	76,072
無形固定資産	3,165	2,962
投資その他の資産		
投資有価証券	3,657	3,392
敷金及び保証金	10,557	9,886
退職給付に係る資産	3,061	3,105
その他	5,090	5,299
貸倒引当金	△46	△43
投資その他の資産合計	22,320	21,642
固定資産合計	101,766	100,676
資産合計	129,256	130,990

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,696	24,503
短期借入金	11,774	9,264
未払法人税等	523	390
商品券	8,805	9,042
預り金	27,982	29,750
賞与引当金	384	371
商品券等引換損失引当金	6,754	6,645
その他	5,862	5,699
流動負債合計	82,783	85,667
固定負債		
長期借入金	4,938	3,102
退職給付に係る負債	483	500
資産除去債務	306	311
その他	3,975	4,036
固定負債合計	9,703	7,950
負債合計	92,487	93,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	11,622	12,437
自己株式	△85	△85
株主資本合計	35,527	36,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	774	554
退職給付に係る調整累計額	467	475
その他の包括利益累計額合計	1,241	1,030
純資産合計	36,769	37,372
負債純資産合計	129,256	130,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	139,509	139,298
売上原価	106,473	106,670
売上総利益	33,035	32,627
販売費及び一般管理費	30,550	30,480
営業利益	2,485	2,147
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	50	51
未請求債務整理益	486	471
その他	100	196
営業外収益合計	638	720
営業外費用		
支払利息	62	50
商品券等引換損失引当金繰入額	505	491
固定資産撤去費用	71	121
その他	281	133
営業外費用合計	921	796
経常利益	2,202	2,071
特別損失		
固定資産除却損等	275	270
減損損失	—	141
特別損失合計	275	412
税金等調整前四半期純利益	1,927	1,658
法人税、住民税及び事業税	239	228
法人税等調整額	△222	△192
法人税等合計	17	35
四半期純利益	1,909	1,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,909	1,622

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	1,909	1,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△304	△220
退職給付に係る調整額	1	8
その他の包括利益合計	△302	△211
四半期包括利益	1,607	1,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,607	1,411

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,927	1,658
減価償却費	2,739	2,932
減損損失	—	141
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	56	△13
商品券等引換損失引当金の増減額(△は減少)	△89	△108
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	16
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△39	△32
受取利息及び受取配当金	△52	△52
支払利息	62	50
固定資産除却損等	368	318
売上債権の増減額(△は増加)	△573	△1,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	330	93
仕入債務の増減額(△は減少)	1,921	3,807
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,495	2,415
その他	△179	△225
小計	7,954	9,891
利息及び配当金の受取額	52	53
利息の支払額	△67	△51
法人税等の支払額	△456	△361
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,483	9,531

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,376	△3,156
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	26
有形固定資産の除却による支出	△495	△577
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	11	—
長期貸付金の回収による収入	9	6
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△0
敷金及び保証金の回収による収入	21	21
資産除去債務の履行による支出	△23	—
その他	446	236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,409	△3,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,024	△2,360
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△3,011	△1,986
配当金の支払額	—	△805
その他	△155	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,491	△5,328
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△418	755
現金及び現金同等物の期首残高	3,497	3,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,079	4,286

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	127,514	7,261	2,756	1,766	139,298	—	139,298
セグメント間の 内部売上高又は振替高	43	1,836	1,617	2,069	5,566	△5,566	—
計	127,557	9,097	4,373	3,836	144,865	△5,566	139,298
セグメント利益	1,620	82	349	225	2,277	△130	2,147

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

決算補足資料

I. 連結決算関係

1. 連結決算の概要

(単位：百万円)

	上半期実績			通期予想		
	金額	対前年増減額	増減率	金額	対前年増減額	増減率
売上高	139,298	△ 210	△ 0.2%	284,200	1,499	0.5%
営業利益	2,147	△ 338	△ 13.6%	5,300	△ 584	△ 9.9%
(売上高営業利益率)	(1.5%)	(△0.2)		(1.9%)	(△0.2)	
経常利益	2,071	△ 131	△ 6.0%	4,900	△ 578	△ 10.6%
(売上高経常利益率)	(1.5%)	(△0.1)		(1.7%)	(△0.2)	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,622	△ 286	△ 15.0%	3,900	△ 953	△ 19.6%
(売上高当期純利益率)	(1.2%)	(△0.2)		(1.4%)	(△0.3)	
減価償却費	2,932	192	7.0%	5,800	292	5.3%
設備投資	3,013	△ 409	△ 12.0%	8,200	2,166	35.9%
金融収支	2	12	—	△ 18	12	—
有利子負債(借入金)	12,366	△ 4,346	△ 26.0%	11,500	△ 5,212	△ 31.2%
連結子会社数	6社	0社		6社	0社	
持分法適用会社数	0社	0社		0社	0社	

(注) 有利子負債の対前年増減額は、前期末に対しての増減となっております。

2. 設備投資

(単位：百万円)

	上半期実績		通期予想	
	金額	対前年増減額	金額	対前年増減額
百貨店業	2,508	△ 572	7,662	2,098
卸・小売業	421	136	495	94
内装業	12	△ 1	12	△ 9
その他事業	96	22	123	9
連結消去	△ 25	5	△ 93	△ 26
合計	3,013	△ 409	8,200	2,166

3. 連結貸借対照表の主な増減理由

(単位：百万円)

	当第2四半期末	前連結会計年度末	増減額	主な増減理由
流動資産	30,314	27,490	2,823	
受取手形及び売掛金	12,348	11,240	1,107	売掛債権の増
固定資産	100,676	101,766	△ 1,089	減価償却による減
資産合計	130,990	129,256	1,733	
流動負債	85,667	82,783	2,883	
支払手形及び買掛金	24,503	20,696	3,807	仕入債務の増
短期借入金	9,264	11,774	△ 2,510	返済による減
預り金	29,750	27,982	1,767	預り金の増
固定負債	7,950	9,703	△ 1,753	
長期借入金	3,102	4,938	△ 1,836	返済による減
負債合計	93,617	92,487	1,130	
株主資本	36,342	35,527	815	親会社株主に帰属する四半期純利益による増
その他の包括利益累計額	1,030	1,241	△ 211	その他有価証券評価差額金の減
純資産合計	37,372	36,769	603	

4. 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
人件費	9,348	△ 57	△ 0.6%
物件費	2,504	8	0.3%
宣伝費	3,096	112	3.8%
諸費	5,765	△ 294	△ 4.9%
賃借料	6,270	△ 12	△ 0.2%
減価償却費	2,833	187	7.1%
諸税	660	△ 12	△ 1.9%
合計	30,480	△ 69	△ 0.2%

5. 営業外損益

(単位：百万円)

	上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
営業外収益	720	82	12.9%
受取利息	0	△ 0	△ 30.0%
受取配当金	51	0	1.9%
未請求債務整理益	471	△ 14	△ 3.0%
その他	196	96	96.3%
営業外費用	796	△ 124	△ 13.6%
支払利息	50	△ 12	△ 19.7%
商品券等引換損失引当金繰入額	491	△ 14	△ 2.8%
固定資産撤去費用	121	50	70.4%
その他	133	△ 148	△ 52.8%

6. 特別損益

(単位：百万円)

	上半期実績	
	金額	主な内容
特別損失	412	
固定資産除却損等	270	改装に伴う除却損等
減損損失	141	スターアイランドの減損

Ⅱ. 個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円)

	上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
売上高	127,748	△ 1,041	△ 0.8%
営業利益	1,814	△ 353	△ 16.3%
(売上高営業利益率)	(1.4%)	(△0.3)	
経常利益	1,688	△ 216	△ 11.4%
(売上高経常利益率)	(1.3%)	(△0.2)	
当期純利益	1,375	△ 268	△ 16.3%
(売上高当期純利益率)	(1.1%)	(△0.2)	
減価償却費	2,808	168	6.4%
設備投資	2,566	△ 547	△ 17.6%
金融収支	52	28	120.8%
有利子負債(借入金)	9,700	△ 4,300	△ 30.7%

(注) 有利子負債の対前年増減額は、前期末に対しての増減となっております。

2. 店別売上高

(単位：百万円)

	上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	62,429	1,004	1.6%
上本町店	12,101	△ 58	△ 0.5%
東大阪店	1,589	11	0.7%
奈良店	11,932	△ 372	△ 3.0%
橿原店	7,318	△ 452	△ 5.8%
生駒店	3,422	△ 303	△ 8.1%
和歌山店	10,183	△ 29	△ 0.3%
草津店	5,051	△ 430	△ 7.9%
四日市店	9,632	△ 276	△ 2.8%
名古屋店 (近鉄パッセ)	4,087	△ 133	△ 3.2%
合計	127,748	△ 1,041	△ 0.8%

(注) あべのハルカス近鉄本店単独 60,628 1,092 1.8%

3. 商品別売上高

(単位：百万円)

	上半期実績			
	金額	対前年増減額	増減率	
衣料品	紳士服・洋品	3,932	△ 213	△ 5.2%
	婦人服・洋品	19,538	△ 1,048	△ 5.1%
	子供服	2,504	82	3.4%
	その他衣料品	3,844	△ 256	△ 6.3%
	計	29,820	△ 1,435	△ 4.6%
身回品	13,885	201	1.5%	
家庭用品	家具	997	△ 336	△ 25.2%
	その他家庭用品	2,565	△ 91	△ 3.4%
	計	3,562	△ 427	△ 10.7%
食料品	40,838	△ 128	△ 0.3%	
食堂喫茶	2,212	△ 281	△ 11.3%	
雑貨	雑貨	13,297	368	2.9%
	化粧品	16,635	77	0.5%
	計	29,933	446	1.5%
サービス	865	38	4.6%	
その他	6,631	546	9.0%	
合計	127,748	△ 1,041	△ 0.8%	

4. 店別売上高予想

(単位：百万円)

	通期予想		
	金額	対前年増減額	増減率
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	125,900	1,324	1.1%
上本町店	24,600	△ 53	△ 0.2%
東大阪店	3,300	29	0.9%
奈良店	24,700	△ 457	△ 1.8%
橿原店	15,200	△ 653	△ 4.1%
生駒店	6,900	△ 325	△ 4.5%
和歌山店	21,300	△ 50	△ 0.2%
草津店	10,100	△ 863	△ 7.9%
四日市店	19,900	△ 329	△ 1.6%
名古屋店 (近鉄パッセ)	8,000	△ 257	△ 3.1%
合計	259,900	△ 1,636	△ 0.6%
(注) あべのハルカス近鉄本店単独	122,300	1,594	1.3%